

## 「正負の数」「数直線」テスト練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 次の数を正の符号・負の符号を使って表しましょう。

- ① 0よりも4大きい数
- ② 0よりも6小さい数
- ③ 0よりも5分の3小さい数

【①】

【②】

【③】

問2 次の空欄に当てはまる言葉を答えましょう。

- ① 数直線上で、数0に対応している点を「     」という。
- ② 正の整数のことを「     」という。
- ③ 「-5」のように、負の数であることを表す「-」のことを負の「     」という。

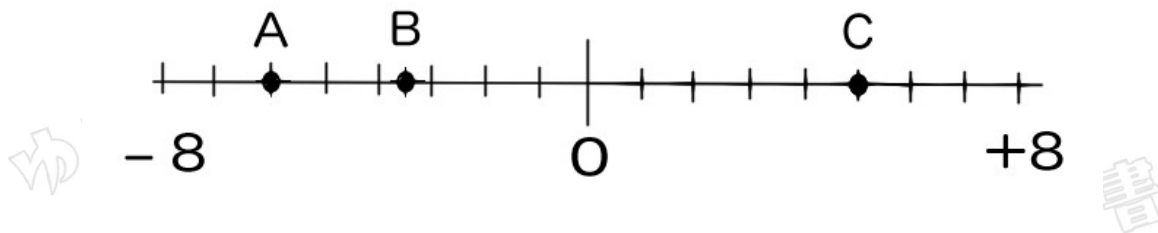
【①】

【②】

【③】



問3 下の数直線上で、A・B・Cにあたる数を答えましょう。また、その中で自然数であるものを選びましょう。



【A】

【B】

【C】

問4 次のア～カの中から、①負の整数、②自然数に当てはまるものをすべて選びましょう。

ア:5 イ:+3.5 ウ:-7 エ:+15 オ:-37 カ:0

【①】

【②】

問5 次のことを、それぞれ正の数・負の数を使って表しましょう。

- ① 5日後のことを+5と表すとき、3日前
- ② 東へ400m進むことを-400mと表すとき、西へ250m進むこと
- ③ 1500円の収入があったことを+1500と表すとき、700円の支出があったこと

【①】

【②】

【③】



問6 ある日のクラスの出席人数を基準にして、それよりも多い出席人数を正の数、少ない出席人数を負の数で1週間記録して表に表した。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
出席人数	34	32	29	27	30	34
基準との差	+4	①	②	③	④	⑤

表の空欄に当てはまる数を書き入れましょう。また、「基準になった出席人数」は何人が答えましょう。

【①】

【②】

【③】

【④】

【⑤】

【⑥】

【基準になった出席人数】



## 「正負の数」「数直線」テスト練習問題と過去問まとめ（解答）

問1 ①+4

②-6

③ $-\frac{3}{5}$

問2 ①原点

②自然数

③符号

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

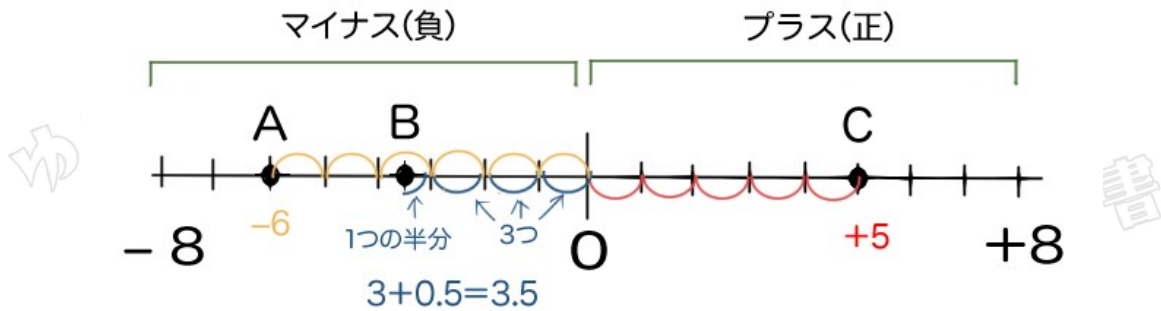
ゆみねこの教科書



問3  $A = -6$                        $B = -3.5$                        $C = +5$

自然数はCの+5のみ

【解説】



まず、1目盛がいくつを表しているのかを求めるために、分かっている数の+8 (-8でもOK)に注目しよう。

原点から+8まで8つ目盛があるので、 $8 \div 8 = 1$ で、1目盛は1を表すね。

Aは負の方向へ向かって6つ目盛を進んだところなので、-6。

Cは正の方向へ向かって5つ目盛を進んだところなので、+5。

Bは、1つの目盛のさらに半分になっていて、原点からは3目盛と半分進んだところだね。

ということは、3と、0.5 (1の半分だから0.5だよ)で

$3 + 0.5 = 3.5$ 。

負の方向へ進んでいるから、-3.5が答えになるよ。

自然数は、「正の整数」だったね。

Aの-6は「負の整数」だから自然数ではない。

Bの-3.5は、「負の少数」だから自然数ではない。

Cは+5で「正の整数」なので、自然数だね。



問4 ①ウ

②ア・エ

【解説】①ア～オの中で、負の数はウとオだね。でも「負の整数」と言われているので、分数であるオは選べない。よって、答えはウ。

②自然数は「正の整数」だね。ア～オの中で正の数はア・イ・エ。

だけどイは少数なので、選べない。よって答えはア・エ。

「0」は正の数でも負の数でもないことと、0は自然数ではないことに注意しよう。

問5 ①-3

②+250m

③-700

【解説】お互いに反対の性質をもつ数量について、一方を正の数であらわすとき、もう一方は負の数で表すことができるね。

①5日後と3日前は反対の性質をもつ数量なので、5日後を正の数で表すのなら、3日前は負の数で表すので、-3となるね。

②東へ進むことと、西へ進むことは反対の性質をもっているなので、東へ進むことを負の数で表すのなら、西へ進むことは正の数で表せば良いね。

ここで注意するのは、「東へ400m進むことを-400m」というように、単位を使って表しているなので、答えにも単位のmを忘れないこと。+250だけではダメだよ。

もしも問題が「東へ400m進むことを-400」と表すことになっているなら、答えも+250だけで大丈夫。揃えることが大事なんだ。

③収入（お金が手に入ること）と支出（お金が出ていくこと）は反対の性質をもっているなので、1500円の収入を正の数で表すのなら、支出は負の数で表せばいいね。

問6 ①+2

②-1

③-3

④0

⑤+4

⑥-2

【解説】出席人数と、基準との差が両方そろっている1日目に注目しよう。

出席人数は34で、基準との差が+4ということは、基準の出席人数は  $34 - 4 = 30$  で「30」ということが分かる。

基準がわかったら、それぞれの日の出席人数と基準との差を正負の数を使って表せば良いね。

5日目の30人は、基準と同じ＝「差がない」ということで、「0」が答え。

